

国別 WID 情報整備調査
(ガ－ナ国)

平成 11 年 12 月
国際協力事業団
企 画 部

国別WID情報整備調査
(ガーナ国)
目次

	ページ
1. 基礎指標	1
1-1 経済社会関連指標	2
1-2 保健医療関連指標	2
1-3 教育関連指標	
2. WID/ジェンダーに関する概要と政府の取り組み	
2-1 ガーナの女性の概況	3
2-2 WID/ジェンダーに関する政府の取り組み	5
2-3 ナショナル・マシーナリー	5
3. 主要セクターにおける WID/ジェンダー	
3-1 教育分野	7
3-2 保健医療分野	9
3-3 農林水産業分野	12
3-4 経済活動分野（鉱工業・手工業・サービス業等）	15
4. 国連機関・その他の機関の WID/ジェンダー関連援助実績	18
5. WID/ジェンダー情報リソース	
5-1 関連機関、人材、NGO リスト	20
5-2 報告書、資料リスト	22
6. 参考文献	27

1. 基礎指標

1-1 経済社会関連指標

経済社会指標						出典
経済指標	GNP/Capita US\$370('97)	実質GDP成長率 4.6%('98)		インフレ率*	ジニ係数*	2)
政府公共('92)	保健	教育	社会保障福祉	防衛	その他	
各セクター支出内訳	6.0%	20.2%	NA	5.9%	NA	4)
人口('98)	総人口 (百万)	都市人口比率/全人口		人口増加率('90-'97)		
	総人口	18.9	34% ('97)	2.70%		1)
	女性人口	9.6				
産業比率/対GDP比	農業	工業(製造業の占める割合)		サービス業		
	40.4%	28.0%		31.6%		11)
労働人口比率(99)	農業	工業	サービス	援助/GNP('97)		9)
	総労働人口	56%	7%	34%	7.3%	8)
	女性比率	51%	5%	44%		
労働関連指標	総労働人口	失業率('98)		女性所得/全所得*		10)
	全体(百万)			NA		
	女性					
意思決定参加率	女性/全体			女性/全体		
	国会議員	NA		管理職	NA	
	大臣	NA		専門技術職	NA	
	副大臣	NA				
女性関連法律		制定年度	内容			
	Constitution Article 17(1), 17(2), 17(3)	1992	Equality of all persons			12
	Intestate Succession Law PNDCL.111	1985	corrected the injustice			12
	Marriages and Divorces Law PNDCL.112	1985	corrected the injustice			12
	Labour Decree NLCD.157		Provision for maternity leave for pregnant female workers			12
女性に関する国際条約批准・署名の有無				批准	批准年度	
	女子に対する差別撤廃条約			NA	NA	
WID関連政策				制定年度		
	第一期中期開発計画			1991		
WID関連国家組織						
	ナショナル・マシーナリー名	National Council on Women and Development				

出典

- 1) Ghana Statistical Service, 1995. Analysis of Demographic Data.
- 2) World Bank, 1998. World Development Report.
- 3) The Institute of Statistical Social and Economic Research, 1998. The State of the Ghanaian Economy in 1998.
- 4) Ghana Statistic Service, 1995. The State of the Ghanaian Economy
- 5) Ghana Statistical Service, 1998. Ghana Demographic and Health Survey.
- 6) Ghana Statistics Service, 1993. Rural Communities in Ghana.
- 7) Ghana Common Country Assessment, 1997.
- 8) UNDP, 1998. Human Development Report.
- 9) Fayoser report
- 10) Ghana Statistical Service; Univ. of Ghana Legon, 1998. Core Welfare Indicators Questionnaire(CWIQ) Survey 1997.

注) *については「用語・指標説明」(p.27)を参照

1-2 保健医療関連指標

保健医療関連指標					出典
平均余命	全体('96) 男性 57歳 女性 61歳			人口増加率 2.7%('90-'97)	1)
保健医療普及	人口/医師一人	25,000人	人口/看護婦(士)・助産婦一人	NA	11)
保健医療に係る政府支出					
一歳未満乳児死亡率(出生千対)*		低体重児率*	予防接種実施率		2)
全体	56.7人('96)	14%(90-94年)	BCG('98)	86%	5)
女児	NA		DPT('98)	68%	5)
五歳未満幼児死亡率(出生千対)*			経口ポリオ('98)	67%	5)
全体	107.6人('96)		麻疹('98)	61%	5)
出産間隔・家族計画	家族計画実行率	13%('98)	合計特殊出生率('98)*	4.6%	2)
出産介助率*	44.3%('90-'94)		初婚年齢	女性 19歳('96)	
妊産婦貧血率	69%('94)				12)
妊産婦死亡率*	740/10万人				
栄養状況			経口補水療法使用率*	93%('97)	8)
ヨウ素欠乏症	ヨウ素添加塩を使用している世帯 NA		栄養失調	NA	
地域医療					7)
安全な水普及率	65%('95)	衛生施設普及率	32%('95)		
HIV/AIDS	HIV感染者	AIDS患者数			
統計(-1993年)	妊婦のうち4-6%	NA			

1-3 教育関連指標

教育関連指標					出典
教育制度	初等教育 6 年、中等教育 3 年				
公共支出に占める教育支出		24.30%			8)
G N P 比	3.8%				8)
成人識字率('94)	男性 76% 女性 54%				4)
人種別	NA				
初等教育('94)	純就学率*	修了率			
男子	76.5%('97)	NA			13)
女子	71.5%('97)	NA			13)
<教育全体の問題点>					
中等教育(1997年)	純就学率*	修了率	高等教育分野別女性比率		4)
男子	40.9%	NA	教育	29%	13),14)
女子	33.7%	NA	人文	-	13),14)
<全体の問題点> 妊娠による中退、経済的困難			法律社会科学	27%	14)
高等教育(1995年)	純就学率		自然科学および工学	25%	14)
全体	NA		医学	28%	14)
女子比率	23.8%('97/'98)				13)

出典

- 1) Ghana Statistical Service, 1995. Analysis of Demographic Data.
- 2) World Bank, 1998. World Development Report.
- 3) The Institute of Statistical Social and Economic Research, 1998. The State of the Ghanaian Economy in 1998.
- 4) Ghana Statistical Service, 1995. The State of the Ghanaian Economy
- 5) Ghana Statistical Service, 1998. Ghana Demographic and Health Survey.
- 6) Ghana Statistical Service, 1993. Rural Communities in Ghana.
- 7) Ghana Common Country Assessment, 1997.
- 8) UNDP, 1998. Human Development Report.
- 9) Fayoser report
- 10) Ghana Statistical Service; Univ. of Ghana Legon, 1998. Core Welfare Indicators Questionnaire(CWIQ) Survey 1997.
- 11) UNDP, 1999. Human Development Report.
- 12) NCWD, 1994, The status of Women in Ghana(1986-1994) National Report for the Fourth World Conference on Women
- 13) Ghana Statistical Service, 1995, Ghaba Living Standard Survey
- 14) Ministry of Education National Council of Tertiary Education, 1997/1998, Statistical Digest of the Polytechnics and Ghana Institute of Languages(GILS) and Statistical Digest of the University and Institute of Professional Studies(IPS)

注) *については用語・指標説明(p.27)を参照

2. WID/ ジェンダーに関する概要と政府の取り組み

2-1. ガーナ国の女性の概況

ガーナ国の女性の概況
1960 年代終盤までジェンダーに関する課題はほとんど顧みられなかった。憲法等で理念上、男女の平等を保障しているが、文化的な先入見によって女性は社会的に劣位であるとされ、公的活動への参加は困難である。頻繁な出産や栄養不良、低賃金等社会システムや家庭での役割期待などから、女性たちは貧困にさらされやすく、貧困化がさらなる貧困を生むという悪循環を招いている。

ル、一人当りの所得がスペインと並ぶ等、アフリカで最も裕福な国家のひとつであるとされていた。ガーナ社会は多部族から成り、信仰の自由が認められ、キリスト教とイスラム教が優勢である。また、金、ボーキサイト、マンガン、木材等の天然資源が豊富である。ガーナの基盤産業は農業であり、これは国内総生産のうち半数以上を占め、労働人口の 3 分の 1 以上を動員している。現在の人口増加率は年率約 3% で、人口の約 3 分の 2 は農村在住であることが特徴である。

1960 年代には農業中心から工業主導型の経済成長への変革が試みられたが、ほとんど成果は生まれなかった。主たる栽培作物であるカカオの国際価格の下落や、1970 年代に頻発したクーデタが相俟って、全てのセクターでの経済活動の停滞が見られた。1983 年には公共交通機関の運行システムは停止しがちとなり、失業率は増加した。

この中でガーナ政府は世銀及び IMF の協力の下、1983 年に「経済復興計画（ERP）」に着手した。本計画において重視されたのは以下の点である。

- 1) 管理経済から競争力を持った市場経済への規制緩和の実施
- 2) 経済成長を阻害する硬直構造の多様化
- 3) 持続的経済成長及び開発に向けて経済の安定化

ERP に伴い、「構造調整プログラム」と「調整の社会コスト緩和実行プログラム（PAMSCAD）」が実施された。これらは、ERP によって影響を被った貧困層（特に農村在住者）への負のインパクトに配慮したものである。

ジェンダーに関する課題は、1960 年代終盤までほとんど顧みられなかった。ジェンダー不平等について言及され始めたのは、1970 年代頃である。1996 年に、ガーナ政府は長期の国家開発枠組みである「ガーナビジョン 2020」を掲げ、2020 年までに収入レベルを中流程度にまで上げることを提示した。この計画において、女性らが直面する問題と、彼女らが国家開発において果たす役割が主要なテーマの一つとなっている。

【法律】

ガーナ法律では、女性が政治や行政、社会、経済生活へ参加することを妨げる法律はない。独立以来、政府及び憲法は男女の平等を保障しており、理念上、女性は自由選択に基づいていかなる政治的な地位や経済活動にも従事することができる。しかし、女性は男性よりも劣っているとする根強い文化的認識のため、政治生活をはじめとした公的活動への参加は困難である。

【伝統的・文化的側面】

ガーナにおけるジェンダー不平等は、個人や社会関係のレベルで、どのコミュニティにも存在している。慣習的に資源の相続は、世帯の男性が優勢とされており、多くの女性は弱い立場にある。労働の性別による分業もガーナ社会では根強く、家庭の内外を問わず、時間と労力を要する煩瑣であるが報酬の少ない仕事の多くが「女性の仕事」として課せられている。

例えば、一夫多妻制のコミュニティでは夫がより多くの妻を持つことは（より多くの子供を持つことにもなり）、彼の仕事を手伝うより多くの労働力を持つことを意味している。一夫多妻制だけでなく、若年結婚や寡婦の再婚制度の実施などは、女性を交換財や資産として見なし、これらの実施によってますます女性の社会的な劣位が強化される。

さらに女性には教育の効果なしとする伝統的な信念のために教育の機会がほとんど与えられず、長

期的に彼女らの社会、政治、経済的地位の向上を妨げている。

【貧困】

1991 年度「ガーナ生活水準調査（GLSS 3）」では、総人口中 31%が貧困ライン、うち 15%がハードコア貧困ライン以下にあると報告している。女性は、貧困層の多数を占めており、伝統的な社会システム、出産や子育てといった「母」としての役割へ専従する一方、女性が世帯主である貧困世帯の増加といった社会問題に直面している。

ガーナでは女性にとって最も重要とされているのは、出産・子育てといった母親としての役割である。ガーナの女性が一生に出産するのは平均約 5 人であり、頻繁な出産の結果、女性らは子育てなどの非賃金労働に従事することを余儀なくされている。

農村での貧困問題は、ガーナにおいて顕著な現象である。女性は、男性よりも賃金の低い労働に従事し、栄養状態も男性より良くない。実際の農業活動などは女性が主体で担っており、また女性の収入に家庭が依存しているにもかかわらず、女性の土地や融資など生産財へのアクセスはいまだに限られており、不利な立場に置かれている。

都市部では、女性は、学歴の低さや技術未習得であるとして、フォーマル・セクターへ就労する機会は限定される。また、若い女性たちは、結婚や思春期での出産のため、これらのフォーマルな労働市場での就職や継続的な就労が困難である。よって都市部での女性労働者の主な職場はインフォーマルセクターであり、彼女らは小規模な商いや家内工場労働に従事している。

離婚や死別、別居を理由として、女性が世帯主となるケースが増加しており（1987/88 年には全世帯中 29.1%であったが 1991/92 年には 32.2%）、これら母子家庭の経済状態も逼迫している。母子家庭のうち、62%が貧困ライン、うち 31%は極貧ラインに相当する。世帯主となる女性は、時として肉体的精神的健康を代償としてまでも、一人で世帯の様々なニーズに対応しなくてはならない。また、単身の女性は、結婚している女性よりも資源利用の点で不利であることが多い。

以上述べたように 社会システムや家庭での役割といった面で、女性たちは貧困にさらされ、その状態がさらなる貧困化を生むという悪循環が生じている。よって女性が経済的にエンパワーメントすること、また、男女双方が、教育やその他の活動を通じて女性の役割や地位についての認識を新たにすることも肝要である。

2-2. WID/ジェンダーに関するガーナ政府の取り組み

ガーナ政府の取り組み	
1991 年、ガーナ政府は長期国家開発枠組みである「ガーナビジョン 2020」を掲げ、2020 年までに中所得国家に仲間入りすることを提示した。この計画において、女性らが直面する問題と、彼女らが国家開発において果たす役割が主要なテーマの一つとなっており、「女性と開発に関する国民委員会(NCWD)」などが行動計画を立案、実施している。	

の社会経済開発の推進を重視し、以下のように目的を掲げている。

- 1) ジェンダー平等化を推進するための組織の強化
- 2) 女性差別の低減
- 3) 女性の社会・経済的地位、環境の向上

一方、「ガーナビジョン 2020」に先立つ 1975 年には、女性に関する問題を扱うナショナル・マシーナリーである「女性と開発に関する国家委員会(National Council on Women and Development, NCWD、次節参照)」は 10 年行動計画を立案し、その中で女性への識字およびインフォーマル教育に重点を置いている。1985 年開始の 15 年計画、「第二次行動計画」では、国家開発における、女性の教育、保健衛生、雇用、法律の改善そして政治参加などを焦点としている。

2-3. ナショナル・マシーナリー

国家開発と女性委員会(National Council on Women and Development)	
名称	国家開発と女性委員会
設立年	1975 年
職員数	77 名
予算	不明
目的	1) 男女共に平等な機会を提供すること 2) 女性の国家レベルの意志決定段階への参加を推進すること 3) 開発における女性の地位向上に努めること 4) ジェンダー配慮のプログラムの一括、広報、監視および評価 5) 社会・文化・経済・教育に関する不平等是正のための行動、広報活動など 6) 女性差別撤廃条約の国連決議及び関連条約の実施に向けて義務を果たすこと

1975 年、「国家開発と女性委員会 (National Council on Women and Development, NCWD)」が、国連の指令にしたがって、アフリカにおける最初の女性のナショナル・マシーナリーのひとつとして政府によって設立された。NCWD の主な活動は、女性に関わる問題全般についての政府への提言、国家機関や国際機関との連絡調整、女性関連問題の計画とプロジェクトの研究と調整である。NCWD は現在大統領省の下にあり、農業、保健、財務各省および地方政府の代表者を含む 14 人の諮問委員会からなる。組織上、NCWD は執行長官に率いられた国家事務局を持ち、ガーナ中に 10 の地方コーディネーターがいる。現在、77 名のスタッフがおり、26 名がヘッド・オフィス、24 名が各地方オフィス、1 から 2 名が地区オフィスに配置されている。

NCDW は現在、ガーナ女性のニーズにさらにプロアクティブになることを目指して、組織改革を行っている。

3. 主要セクターにおける WID/ジェンダー

3-1 教育分野

教育
独立以来、政府は基礎教育の徹底を目指し、就学率の向上に貢献した。しかし、機会均等やアクセス等の問題が依然として残っており、特にジェンダー格差が深刻な課題である。初等教育から中等、高等教育へ進むほど教育を受ける機会等の男女の格差は拡大している。

【政策と予算】

1996 年以来、ガーナ政府は 2005 年をめどに「基礎教育の義務・無料化プログラム (FCUBE)」に着手している。本計画の枠組みの中で、女子教育もまた重視され、「女子教育のための国家行動計画 (NPAGE)」が開始された。また、政策として、女子に対する科学や技術、数学教育の強化も配慮されている。

女子教育プログラムの主な目標は以下のとおりである。

- 1) 2005 年までに初等教育就学率を 75% から 95% へ引き上げる。
- 2) 学校教育におけるジェンダー格差を無くす。
- 3) 女子基礎教育のドロップアウト率を現行の 50% から 20% へ引き下げる。

また、プログラムでは両親やコミュニティリーダーへの女子教育に対する啓蒙活動を狙い、「女子教育推進キャンペーン (GEPC)」を実施している。国家行動計画の骨子は、地方やコミュニティレベルでの女子教育に対する意識化や動員である。

行動計画では、もし社会・文化的な障壁がなければ、女子の就学率は増加するであろう、と力説している。

1996 年に国家予算の内、教育は 34.7% を占めていたが、90% は教員のための給与であった。FCUBE の第一次 5 ヶ年計画では、総額 13 億ドルが割り当てられた。女子教育プログラムのための特別予算は推計 2600 万ドルである。

1987 年に開始した新教育システムでは、就学前 (1-6 歳)、小学校 (6 年間)、中学校 (3 年間)、その後、高校 (3 年間) もしくは技術・職業学校 (3 年間) という構成になっている。高等教育は、総合大学、短大、教員養成短大、及び技術短大である。

【女子教育の現状】

1994 年ガーナ生活水準調査によれば、小学校への就学率は女子 71.9% に対して男子 77.0% である。高校では、女子 41.1%、男子 56.9%、さらに大学教育レベルでは、女子 8.5%、男子 41.1% である。このように男女の就学率やパフォーマンスは、教育レベルが高くなるほど格差が広がっている。高等教育での就学率の低さの主な原因としては、留年や中途退学が考えられる。小学校の修了率は男子 57% であるが、女子は 44% に過ぎない。

また、女子の教育への低い参加度合いについての原因の背景として、貧困や伝統的・文化的慣習や信念、そして学校環境が考えられる。多くの農村地域では基礎教育のための施設が皆無であったり、中等学校へ就学するために寄宿生活や高い交通費が必要であることが多い。多くの貧困世帯は、娘を遠方の学校へやったり、寄宿させるだけの経済的余裕がない。北部地方では、根強い貧困のために、女子の就学率はきわめて低い。

先入見や文化的慣習によるパフォーマンスの低さとは、例えば北部の家庭など、女子の教育に価値を見出していないといったケースを指す。女子には「子どもを生み、育てる良き妻、良き母」という伝統的役割を果たすことの方が、学校へ通うことよりも強く期待されている。また、イスラム教徒のコミュニティでは正規の学校教育に対して、天国へ行くのを阻む悪魔的なものとする感情がある。思春期妊娠や若年結婚等が増加しており、これらも女子の学校教育を阻んでいる。

学校環境も深刻な問題である。多くの場合、学校設備は惨憺たる有り様で青空教室も珍しくない。また教員が少ないために授業自体が滞っている。また家庭と学校との距離が遠いため、遠路を単身で登校せねばならないので、女子を学校へ遣りたがらない家庭も多い。

以上述べたような要因が統合して、女子の就学率や修了率の低さに影響を与えていると考えられる。

現在のところ、教材は無償で配布されている。しかし中等学校レベル以上からは利用料として、10%を納入する。教材が各校へ配布されるのが遅れる等、分配システムの面でも課題を残している。1992年の時点で、初等学校は公立校が11,218、私立校が916校、また中等学校では、公立校が5,241、私立校が218あるが、今後も学校建設の必要がある。

1997/98年に教員養成短大は38校あり、20,399名の学生のうち、61.7%が女性である。前述した「国家行動計画」では、女性教員の養成と雇用を積極的に推進し、結果的に女子の就学率や修了率を改善しようとしている。女性の教員候補生は各地域レベルからの支援を受け、養成終了後は各地域で一定期間教員として勤める。

【識字教育】

識字率は、全体で46%（1981年）から64%（1995年）、女子は35%（1981年）から54%（1995年）、男子は56%（1981年）から76%（1995年）と、総じて上昇している。しかし、男女を比較すれば識字教育でも、格差があることが分かる。

低い識字率という状況を鑑み、1987年に教育省ノンフォーマル教育課では、国家の非識字率を10%にまで引き下げることが目標に様々な基礎識字教育のためのプログラムを展開したものの、ここでも女子生徒の中退率は男子よりも顕著であった。

【経済政策と教育】

1970年中盤より1980年代初頭に至る深刻な経済停滞と政策不備のため、教育セクターのための実質歳出は大きく減少した。1979年から1985年の間に、教育予算は66%削減された。多くの熟練教員達は、より良い給与を求めて教壇を離れた。教員数や質の低下のみならず、予算削減のためにインフラや設備投資が困難となった。

3-2 保健医療分野

保健医療	
1996 年 4 月、厚生省によって「リプロダクティブヘルス・サービスの政策と国家規準」が掲げられた。ヘルスサービスは、農村や都市のコミュニティや地区レベルを単位とし、プライマリ・ヘルス・ケア・システムの徹底化を目的として全国的に提供されている。 しかし女性の健康状態は、栄養不良、頻繁な出産、HIV 感染など男性よりも深刻な状態にあり、ヘルスケアサービスの利用機会が限定的であることも問題である。近代的避妊についての知識は普及し始めたが、副作用に対する恐れやパートナーの反対等のために、実際の利用は少ないとみられる。	

- | | |
|----|---|
| 1) | 産前・出産時・産後の母子の安全性の確保、特に母乳保育や母子保健 |
| 2) | 家族計画 |
| 3) | 非衛生的な中絶の防止と中絶後ケアの徹底 |
| 4) | リプロダクティブ関連の感染症（特に性感染症や HIV/AIDS）の防止及び管理 |
| 5) | 不妊症の防止と対策 |
| 6) | リプロダクティブ関連器官（乳房、精巣、前立腺、子宮頸）の癌防止と対策 |
| 7) | 更年期障害への配慮 |
| 8) | 女性器切除等の性と生殖に関する危険な伝統的慣習の削減 |

【女性の衛生の現状】

サービスシステムの改善にも関わらず、依然として近代的なヘルスケアの普及は完全なものとは言えない。ヘルスケア利用可能者は、全人口の 60%、農村人口の 45%であり、全出産のうち医師か看護婦、助産婦による介助があったのは 44%、熟練した伝統的産婆による介助 24%、訓練を受けていない産婆による出産が 18%である。地域格差も大きく、リプロダクティブ関連の指導及びケアの実施機関は一機関あたり、9,500 名の人々を担当している。北部での担当地域はさらに広大で、15,000 名の人々を対象としている。地方農村部では、ヘルスポストが非常に遠隔地にあるために、伝統的な医療師や産婆に頼るケースが多い。

1998 年現在、産前に近代的な医療を受けたのは全出産中 87%であった。産前にケアを受けた妊婦は平均 4.6 回医療サービスへのコンタクトがあり、さらにうち 5 分 3 の女性は、4 回以上の訪問をしている。1993 から 1997 年の 5 年間の間に、全出産中 45%の女性が、少なくとも二回は破傷風の予防接種を受けているが、都市部において接種率は高い。

妊産婦死亡率は 740(全 100,000 出産中)であり、この数値は途上国全体 (477) と低開発国 (LLDC) (1,052) の平均値の中間に相当する。女性の割礼は禁止されているものの、30%が現実に施術されている。これは出産時の異常大量出血の原因とも成りうる慣習であると考えられる。不法な人口中絶についてはデータが発表されていないので、現実により深刻である、と考えられる。

乳幼児死亡率及び五歳児以下死亡率はここ 20 年間で 43%の減少を見たが現在それぞれ 57 (1,000 件中)および 108(1,000 件中)となっている。しかし、現在でも 9 人中 1 人は五歳になる以前に死亡しており、そのうち半数は出生後一年経たないうちに死亡する。子どもの死亡率は居住地及び母親の教育程度によって変化し、都市部に在住し、母親が中等教育を受けている世帯の子どもの死亡率は低い。乳幼児死亡の主な原因は栄養不良、マラリア、下痢等であるが、連続的な出産もそのリスクを高める要因である。

出生時低体重児 (2500g 以下) は全体の 20%を占めており、厚生省にとって深刻な課題の一つである。また栄養失調も高く、低体重児 25%、虚弱児 10%である。一歳児予防接種の接種率は、43%(1993) から 51%(1998)に上昇した。

HIV 感染もまた、深刻な問題である。1992 年までの推定感染者数は 15 万人で、アフリカ諸国では 11 位である。1995 年の報告では、各地域でそれぞれ妊婦の 4-6%、性的感染症（STD）患者の 10%、献血の 2%から HIV 陽性が発見されている。1986-1992 の間に報告されたケースでは、女性の感染が多く、全体の 71%を占めることが判明した。年齢層別の調査でも女性の感染が目立ち、特に 15-29 歳グループの 81%が最多であった。15 歳以上のグループでは、男性よりも女性の感染が頻繁に起こっている。また新生児の 1/3 が母子感染により罹病していることが分かった。売買春や一夫多妻制も複数の女性への同時感染の要因となると考えられている。HIV 感染のケースはまだ報告されていない可能性もあり、AIDS に関するデータが未整備であることから、現実はより深刻であろう。

都市のスラムや農村在住の子ども、妊婦、授乳中の女性の栄養不良は、彼らの健康状態に大きな影響を及ぼしている。妊産婦の 65%、妊娠をしていない女性の 45%が栄養状態不良とされている。傾向として、タンパク質・エネルギー不足と、微量栄養素不足が顕著である。微量栄養素不足としては、鉄分不足による貧血がよく見られるが、女性の多く(60.7%)はヘモグロビンレベルが 50-70%であり、35%の女性は 70%レベル、また、4.5%の女性は 50%という低いレベルであった。このほかビタミン A やヨウ素欠乏症などが特に北部 3 州で顕著であり、1/3 が欠乏性疾患にかかっている。北部在住の女性の栄養状態が深刻なのは、天候等の厳しい環境と文化的要因によるものであり、皮肉なことに農繁期ほど栄養不良に陥っている。世銀が 1989 年に行った調査では乾期には 36%の女性が深刻な体重不足であるが、他の季節には 19%である。また、同調査では乾期の低体重男性は全体の 23%、他の季節では 3%に過ぎない。

近年になって、女性のリプロダクティブヘルスに対する重要性がようやく注目され始めた。300 以上の NGO が同分野での活動に従事しており、The Planned Parent Association of Ghana(PRAG)や Young Women's Christian Association of Ghana 等の団体が厚生省や他の政府組織とともに活動している。

【ヘルスサービス提供の構造】

全ての国民が保健サービスを受けられることを目的としたプライマリー・ヘルスケア・システムでは、コミュニティ、サブ・コミュニティ及びディストリクトレベルで保健サービスが提供されている。

コミュニティレベルでは、サブ・ディストリクトの衛生管理チームの下、5-7 名から成る市町村衛生委員会が組織されている。地区のボランティアや伝統的産婆、薬剤師らがコミュニティを基礎としてサービスを提供している。月一回は、1 衛生センターあたり 12 ヲ所へ出張サービスを行っている。伝統的産婆指導員の各コミュニティの伝統的産婆への訪問は、最低月一回のペースで行われている。

ディストリクトは 5-6 のサブ・ディストリクト（対象人口約 20,000-30,000 名）から構成され、衛生や医療サービスを提供している。サブ・ディストリクト衛生管理チームの下、全国的に、農村では衛生ポストや市街地では衛生センターがあり、医療助手や助産婦、看護婦などがリプロダクティブヘルスのサービスを提供している。

州病院では設備がより充実しており、助産婦、医療助手、看護婦の他、婦人科医等の医師が配備されている。ディストリクト病院はこれよりも設備が劣るが、サブ・ディストリクトでの医療サービスの提供が可能のように紹介制度が導入されている。さらに大規模な病院では、2 つの国立大学病院と陸軍病院がある。

【家族計画】

家族計画活動は 1961 年から開始されていたものの、政府機関による取り組みは「ガーナ国家家族計画プログラム（GNFPP）」策定の 1970 年以後のことであった。1994 年に修正された家族計画に関するプログラムでは、主な目的として合計特殊出生率を 2000 年までに、5.5 から 5.0 に引き下げることが掲げられている。それは、避妊具使用率を高め、知識の伝達・啓蒙活動と、公的私的セクターのこの問題に関する対応能力を高めることにより達成される。また、男性に対する家族計画関連の情報サービスと教育プログラムも重視され、コミュニティ・ボランティアや他の普及プログラムによる家族計画サービスの提供が確保されている。

1993 年に 6.4 であった合計特殊出生率は 1998 年には 4.6 に低下している。しかし、この数値は地域や母親の教育程度に従って変化しており、概して農村地域では都市部の女性より 2.5 名子どもの数が多い。

く、全く学校教育を受けていない女性は、中等教育以上の教育を受けた女性よりも二倍の数の子どもを生む。とはいえ、ここ 10 年の間で、希望する子どもの数と、現実とのギャップは埋まりつつある。

1998 年の「人口と保健調査」によって明らかとなったのは、避妊に関する知識は普及してきたものの、実際の利用は少ないことである。女性のうち 94%、男性のうち 96%が何らかの近代的な家族計画についての知識を有し、女性のうち 80%がどこへ行けば避妊具を入手できるかを知っている。しかし、現在結婚している女性のうち、何らかの避妊方法を利用しているのは 22%、うち 13%は近代的方法である。広く流布している方法はピル（4%）であり、続いてコンドーム(3%)であるが、伝統的方法を利用しているのは結婚している女性の 8.7%である。避妊方法を利用しない主な理由は、副作用に対する恐れと、パートナーや周囲、宗教的信条から来る反対のためである。

3-3 農林水産業分野

農林水産業分野

1991 年、政府は「中期農業開発プログラム」の中でジェンダーの課題に取り組むことを明らかにした。

女性は農作業の他、食品加工や家事といった労力を要する活動に従事している。しかし、教育や土地所有、融資など生活に必要な資源へのアクセスという点で、男性よりも不利であり貧困状態を余儀なくされることが多い。共同組合や農業普及サービス、小規模金融スキーム等女性を対象としたプログラムが、女性の現状を改善する試みとして、開始されている。

政府は 1991 年に「中期農業開発プログラム (MTADS)」を開始し、その中でジェンダーの課題に取り組むべきとの認識を新たにした。MTADS では、女性を対象としたサービスの提供や、女性による女性のためのプログラムを掲げ、各コミュニティに恩恵が直接浸透し、フィードバックが得られるように、コンタクトパーソンとして女性を配置することを提案している。

食糧農業省 (MOFA) では、農業開発における女性課 (WIAD) を設置し、この課は、農村地域での女性を支援するため、同省の普及サービス部 (ESD) と協調し、基本的に女性の農業従事者のためのプログラムを担当する。WIAD はまた、女性の農家や農産物加工を行う女性などを対象とした農業技術や適正な政策と戦略を開発する役割を担っている。

1995 年現在、WIAD と ESD は、MOFA の予算よりそれぞれ 1.8%、4.8% を割り当てられた。1996 年次の総予算中、ESD 4.1% に対して WIAD は 0.8% しか割り当てられなかった。

【農山漁村地域における女性の状況】

農業はガーナ経済の基幹であり、1998 年には GDP の 40.5%、総輸出高の 43.8% を占め、労働人口の 57% が農業セクターに従事している。女性労働者の 59% は農業従事者であり、食糧生産の大部分の 70% を産出している。女性が従事している根茎作物の生産は国家の食糧確保のために重要な労働である。また収穫後も、貯蔵や加工、販売等の面で貢献している。

ガーナは西アフリカ有数の漁業国家であり、年間生産量は 30 万トンに及ぶ。漁業活動そのものは男性が担うが、水揚げ後の加工（燻製、乾燥、塩漬け等）と加工品の運搬、販売は女性が従事する。水産業における女性の貢献は大きい。

しかし、教育や土地、融資、農業普及サービス等、様々な農業関連の新技术等、生産に必要な資源へのアクセスという点で、現在のところ、女性は男性よりも不利である。その結果、貧困の傾向がある農山漁村地域の中でも、女性はさらに貧しいままという状態を強いられている。

農作業のみならず、女性は様々な家事にも従事する。農村世帯の 80% は依然として上水道が引かれておらず女性は水汲みのため、長距離を歩かねばならない。女性が担当する薪等の燃料集めも時間と労力を要する活動である。

【製造・販売業における女性の役割】

一連の食糧生産活動の中で、女性は最も重要な働き手である。穀物生産から市場に至るまでの運搬は女性が担当する。食糧加工も農場外労働として女性が担う活動である。ガーナではパーム油、ガリ（キャッサバを加工した食品）やその他農産物の加工品、魚類の燻製作りは女性の仕事とされている。また、シアーナッツや落花生からの油の抽出作業は、北部地方では特に女性の仕事とされている。

【土地所有と女性】

ガーナにおける（終身的な）土地保有システムは原則である慣習法に基づき実施されている。ガーナでは、伝統的に土地は一族が共有しており、首長などが土地に対する権限を持っている。首長は、例えば母系社会であっても圧倒的に男性が多く、そのため本来は女性の土地のアクセスには制約はないとされているものの、実際には男性と同等の権利を有しているとはいえない状況である。女性は、自分たちが耕作する土地を所有しないか、たとえ所有していても男性よりも小さな土地である。この原

因として幾つか考えられるのは、1) 若年結婚と家事や育児などの活動のために土地を手に入れる機会が少ないこと 2) 労働分業により、土地の整備等が男性担当であるため、最終的な土地所有について男性優位となること 3) 土地は所有者の管理運営能力や資材に基づいて分配されるが、女性は通常、そのような資金源を持っていない。

保有制度ではないが、小規模農業に従事する女性達による様々な形態での所有は行われている。例えば北部に見られるような交渉によって、あるいは共同耕作、また夫の土地の利用権を通して等が一般的な所有の方法である。女性による土地買収はあまり行われていない。これは多くのコミュニティで伝統的に土地は売買できるものとはされていないためであり、万一売買が成立したとしても、女性には購買力がない。

【金融利用と女性】

農業開発銀行、ガーナ銀行、国家投資銀行、小規模産業のための国家委員会、開発における女性機会拡大基金、NGO との協力下の実現した世界女性銀行所などから、女性や農家は融資を受けることができる。しかしこれらの正規機関による融資のスキームを享受することのできるのは、穀物生産農家、小規模産業従事者や起業家等に限られる。小規模な農家は、リスクが高いこと、申請手続きに通じていないこと、銀行が遠方にあること、等から正規融資機関からの恩恵を受けにくい。しかし、グループや NGO を通して（個人では不可能ではあるものの）、ガーナ銀行によるガーナ女性基金スキーム等を利用することができる。

女性農家が資本を得るのは通常インフォーマルな機構を通してであり、例えば夫や親類、金貸し、インフォーマルな金融システムである「スス(susu)」業者などである。小規模金融スキームは、このような農村女性を対象として、サービスを提供しようという試みである。

【女性の組織】

共同組合やインフォーマルな融資のシステムなど、農村地域にも女性のグループは幾種類か存在する。このうち、共同組合という形での組織化は 1980 年代初頭より始まり、これによって女性が土地を手に入れやすくなった。女性の土地保有に対する障壁は少しずつではあるが、このような組織化によって取り除かれつつある。「スス(susu)」グループは商業銀行等の正規金融機関からの融資を受けることが困難な女性たちによって、インフォーマルな融資制度として組織されている。

【農業普及サービス及び訓練プログラム】

農村地域では、多くの女性たちが旧来の技術を使い、多大な時間と労力を必要とする作業を行っている。このため生産性が上がらず、耕作地域を拡大することも容易ではない。

農業普及サービスは、農村地域への農業技術の情報提供を行っている。担当機関は MOFA の ESD とココア流通庁である。しかし、後者は大規模なカカオ生産に従事する商業農家を対象としているため、農家女性が接点を持つことは少ない。他方 ESD は、サービスを地方分権的に、すなわち各地域レベルでの地方行政府及び農村の機構を通して提供する。部の監督官は、国家レベルでの大まかな方針を提示し、プログラム実施の監視と評価を行う。普及担当官は、MOFA の中央局や州・ディストリクトに配置される。

また、ESD の働きとして重要なのは、NGO や民間セクターによる他の農業普及関連活動と全国的に協力することである。

通常の農業技術普及活動の他に、WIAD と協力し、農村女性を特に対象として、食事改善や食糧生産・加工・保存・貯蔵や家事経営についてのサービス提供を行っている。

この他、「ガーナ地方技術産業サービス(GRATIS)」やその他の NGO は農村女性により効率的で生産性の上がる技術を紹介することを目的としていくつかのプロジェクトを実施している。主な活動分野は食品加工であり、例えば湾岸部の漁村や山間部における搾油やガリ(キャッサバ製品)製造等で効果をあげている。

しかし、社会的ないしプロジェクトの運営上の問題から、これらのプログラムへの女性の参加度合いは低い。主な原因として、普及担当官との接触が少ないこと、男性の監督官が多いこと、MOFA の支援スタッフが適切な行動をとらないことなどが挙げられる。また、普及スタッフにはその地方出身

者や女性をより多く採用することで、女性へサービスが浸透するよう工夫するなど、量・質ともに農村女性のためのサービスを充実させる必要がある。

3-4 経済活動分野（鉱工業・手工業・サービス業等）

経済活動分野
女性は、学歴等を理由にフォーマルセクターへの就労に制約を受け、低所得の労働に従事せざるを得ない。多くの農業や行商、服飾、搾油、製パン等の活動に従事する。女性の起業や就労を支援するために、技術教育や小規模融資、託児所などが整備され始めたものの、利用は限られている。

【インフォーマルセクターにおける女性】

女性はインフォーマルセクターのうち、労働力のかなりの割合を占める。1997年には女性労働力の81.5%が、自営業及びインフォーマルセクターに従事したが、男性は71.0%である。大部分は、農業と商売等を営んでおり、これらは低収入、付加価値の小ささ、不安定な雇用によって特徴づけられる活動である。インフォーマルセクターに就労する多くの女性は、自由選択の結果というよりは、不可避の選択として就労を余儀なくされている。フォーマルセクターにおける雇用機会は少なく、多くの女性が持たない教育上の資格を要求する。

女性労働者の約51.2%は村落部で農業に携わっている。そのほとんどは自給用に小さな所有地を耕作し、余剰生産物を売って現金収入を得ている。

都市部の多くで支配的なのは、小規模な商売といった活動である。多数の女性が手に入りやすい物を販売する結果、市場への過剰流入が生じている。約5%の女性労働力は、手工業に従事しており、その大部分はインフォーマルセクターである。手工業におけるインフォーマルセクターの経済活動とは、主に服飾、搾油、魚の加工(薫製)、製パン等である。

【フォーマルセクター】

1997年において、フォーマルセクターは全労働力の11.1%の雇用しか提供していない。それに従事する女性労働力は約4.7%に過ぎず、これに対する男性では18.1%である。公共セクター及び民間フォーマルセクターでは、女性がそれぞれ3.3%と1.4%、男性ではそれぞれ10.6%、7.5%労働に従事している。フォーマルセクターの雇用規模はごく制限されたものであり、このことは特に女性の雇用で顕著である。フォーマルセクターで働く女性の多くは、意思決定や企画立案などの知的戦力というよりは、未熟練労働者として就労している。技術レベルが賃金レベルを決定するため、このカテゴリーにおける多くの女性は技術的に未熟であり、高い収入を得ていない。

【技術教育と職業訓練】

女性雇用と訓練ニーズに対応したコンポーネントを含むプログラムも存在している。これらのプログラムの大部分は政府機関とNGOによって運営される。

「小規模産業のための国家委員会(NBSSI)」は、小規模の起業家と将来の起業志望者を対象として、訓練と専門的カウンセリングを提供している。しかしながら、プログラムへの女性の参加者は18%に過ぎない。NBSSIは、特に女性による小規模産業の起業を支援し、女性が自分たちのビジネスを始めることを奨励する女性セクションの設立を進めている。

雇用福祉省(MESW)による「国立職業訓練所(NVTI)」や、教育省(ME)下の技術短大、及びNCWD等の政府機関は、女性を対象とした職業・技術訓練を提供している。技術短大の場合、女性は1994年の全日コースの名簿記載者全体の25%を占めていた。多くの女性は、調理・事務管理・食品販売業のコースに参加している。

また、雇用領域における女性や少女の状況改善を目指す民間・宗教的組織もガーナには多数存在する。例えば、The Young Women Christian Association (YWCA)等の民間組織は少女

を対象として労働市場における競争力をつけることを目的とした職業訓練を実施している。その他、Christian Mother of the Catholic Church やガーナ赤十字などのような団体は、女性の生産性と収入向上を目指した訓練を行っている。

女性と少女を対象とした訓練や再訓練の施設のほとんど全ては、食品加工業（ガリ生産、精油等）、食品販売業、タイピング、服飾業、理容師、家政業等の分野である。これらの領域では、既に労働の過剰供給が生じており、必ずしも訓練を受けた女性が利益を受けているとは言えない。

【小規模起業支援】

近年になって、特に女性による現金収入向上を促すことを目的として、多様な制度が推進されるようになった。これらの施設は、NBSSI、ガーナ銀行、世界女性銀行所などである。NBSSI は、他の政府機関や NGO と協力しながら、自らがイニシアティブをとって、収入向上と起業のための女性による取り組み支援を全国的に展開している。例えば、地方自治と農村開発省と協力した「開発における女性の機会強化(ENOWID)」プロジェクトにおいては、NBSSI は、プロジェクトの対象となるコミュニティ内で、女性のための融資提供とビジネス経営技術面での支援を実施した。また、NBSSI は NCWD と協力して、様々な農村・都市部における女性グループと女性小規模起業家を対象とするプログラムも行った。以上のプログラムは、女性の経済活動のための融資を提供するほか、リプロダクティブ・ヘルスに関する教育プログラム、識字教育、プロジェクト管理、育児教育といったプログラムを通して、戦略的な介入を行った。プログラムは、陶芸、石鹸製造、ビーズ細工、食品加工も支援している。女性グループは 20%の利子で 3 ヶ月猶予という条件で融資を受け、返済は一年以上の分割払いが可能である。

ガーナ銀行の「ガーナ女性基金スキーム」では、NCWD 認証のグループ、銀行、NGO を通じた女性支援を目指している。このスキームによる融資では、ガーナ銀行から担保物件を求められない。但し、中間窓口となる支払い銀行が、融資申請者の保証をし、口座を開くことが条件づけられる。

世界女性銀行所（WWB）では、行商等の商業に従事する女性や、小規模起業家女性に焦点を置いている。女性を対象とした非制度的な融資のスキームを提供するほか、ビジネス経営、販売、運搬・輸出といった分野での技術訓練も行っている。WWB は、ごく最近まで都市だけに活動が限定されていた。

【女性労働者への支援制度】

1987 年、児童と就学前児童を対象とした託児所の設置に関する法律が制定された。1992 年憲法においては、「伝統的な子育てに従事している女性が、自らの可能性を発現すること」を特に提言している。国内で約 90%の託児所は、それぞれ州の州都に位置している。

また、民間でも費用を納めることのできる家庭を対象とした、良質の託児所もある。そこでは、訓練を受けた保母がおり、衛生的で設備が整っており、玩具や良いカリキュラムが用意されている。公共のセンターはそれ程高額ではないが、設備の点では劣る。

フォーマルセクターに就労している女性は、法の保護によって産休や育児休暇を取ることができるが、経済活動の大部分を占めているインフォーマルセクターでの就労女性は、その恩恵にあずかってはいない。

4. 国連機関・その他の機関のWID/ジェンダー関連援助実績

プロジェクト	実施機関	援助機関	期間	予算(US\$)	ジェンダー関連
<教育>					
Credit with Education for rural Women Plan on GirlChild Education		UNICEF WFP	1996 - 2000 1997 - 2001	1,000	To enable poor women in rural areas to increase income and savings to improve nutrition and health Food assistance to girl pupils in northern regions
<保健衛生>					
Supplementary Feeding, Nutrition and health Education Motherhood and Female Reproductive Health Reproductive Health	Ministry of Health, NGOs	WFP UNICEF UNFPA	1995 - 1999 1996 - 2000 1996 - 2000	5.5 million	To train expectant and nursing mothers and mothers of malnourished children in basic nutrition and health To improve quality of and accessibility to maternal, obstetrical and neonatal care To ensure comprehensive, quality and cost-effective reproductive health services To integrate population variables into development planning
Population and Development Strategies Advocacy		UNFPA	1996 - 2000		To create a conducive environment for promoting reproductive health and population
AIDS	Ministry of Health, NGOs	USAID	1996 -		
Baby Friendly Hospital Initiative	Regional Hospitals	WHO	1997 -		To promote breast feeding in health facilities
Programme of Research, Development and Training in Human Reproduction Regional Plan of Action to accelerate Elimination of Female Genital Mutilation	Ministry of Health, National Hospital	WHO WHO	1997 - 1996 - 2015		To coordinate, promote conduct and evaluate external research in human reproduction To reduce the population of female who have undergone any type of genital mutilation
<農林水産業>					
Research and Regional Training on Artisanal Fish Processing Root and Tuber Improvement Programme Upper East land Conservation and Small Holder Rehabilitation Project Research and Regional Training on Artisanal Fish Processing Integrated Rural Development Project at Evisam Community Forestry	Ministry of Food and Agriculture Water User's Association NGO	NEDA IFAD WFP NEDA DANIDA WFP FAO	1992 - 1997 1997- 1992 - 1997 1996 - 1998 1995 -	9 million	To increase availability to quality fish products for rural population through improved fish production To introduce technologies which ease women's work and increase time for incomes To allocate more plots to women involved in dam rehabilitation works To improve fish processing for mainly women To improve upon the income level and overall quality of life of women and their families Income generation through sale of natural trees, fruits and products To increase availability and use of gender disaggregated data in rural planning effort
Gender Disaggregated Statistical Data					
<経済活動>					
Production of hand dyed textiles and garments for export	Entrepreneurs	DANIDA	1996 - 1997		To promote product quality and income earning opportunities for Ghanaian entrepreneurs

プロジェクト	実施機関	援助機関	期間	予算 (US\$)	ジェンダー関連
<その他>					
Promoting Gender Equality in Ghana	NCWD, Women NGOs/CBOs	UNDP	July 1998 - July 2000	1,000,000	To strengthen and enhance national machinery and women's NGOs/CBOs' activities
Women in Public Life Research	NCWD, ISSER, GIMPA.	DFID	1997 - 1998		Study on Ghanaian women in public life
Trokosi Modernization Project		DANIDA	1996 - 1997		To advocate, facilitate, and abolish the Trokosi institution, and promote the integration of emancipated Trokosi Slaves
Strengthening the protection of women's legal rights		DANIDA	1996 - 1998		To emancipate women in Ghana by securing a level of protection of their human rights
Sexual defilement of female children		DANIDA	1997		To stimulate the formulation of appropriate sanctions and policies to control the phenomenon
Street Babies Programme		DANIDA	1997 - 1999		To improve upon the quality of life of street mothers and street babies
Street Children training and Sponsorship Programme		DANIDA	1997 - 2000		To restore the lost self esteem and confidence of street children
Assistance to Liberian Refugees		WFP	1990 -		Food aid in the camps mainly for women and children

5. WID/ ジェンダー情報リソース

5-1 関連機関、人材、NGOsリスト

【政府機関】

名称	実績など	報告書	連絡先
Family and Development Project	1990-1996		Tel : 500786, Legon
National Board for Small Scale Industries (NBSSI), Gender Desk - Mrs. Rubby Dagadu		Information on Women's Assess to Credit	Tel : 668641/2 Fax : 669707
The Ministry of Health, Mrs. Rejoice Nutacor		Information on Women in Health	Tel : 665444
National Population Council, Mrs. Esther Apcokin		Information on Women and Population Issues	Tel : 665421
National Council on Women & Development, Ms. Atawa Akycu, Mrs. Giftv Ohene - Konadu		Information on Women and Production	

【コンサルタント】

名称	実績など	報告書	連絡先
Dr. Clara Fayoursey, Gender Consultant		Empowering Women for Enterprenurship Development in Ghana Population Income Generation and Pertility Behavior among Rural Women in Ghana Commoditization of Childbirth : Female Strategies towards The Role of Donor Agencies in Population Policy Implementation in Ghana	Tel/Fax : 774657
Family and Development Project, University of Ghana, Legon. Mrs. Elizabeth Ardarfio - Shandorf, Gender Consultant		Urban Marketing System ; An Analysis of Operational and Environmental Condition of Markets in Ghana	Tel : 500786
University of Ghana, Mrs. Mariama Awumbila, Gender Consultant		Women and Change in Ghana : The Impact of Environmental Change Gender and Structural Adjustment in Ghana	Tel : 500385
Institute of Statistical Social & Economic Research, Ms. Ellen Bortei - Doku Aryeetey, Gender Consultant			Tel : 665778
MEL Consulting limited Ms. Aba Amissah Quainco		Micro credit, Marketting System	Tel: 245429 Fax: 245429 E-mail: mel@ghana.com

名称	実績など	報告書	連絡先
Family and Development Project	1990-1996		Tel : 500786, Legon
National Board for Small Scale Industries (NBSSI), Gender Desk - Mrs. Rubby Dagadu		Information on Women's Assess to Credit	Tel : 668641/2 Fax : 669707
The Ministry of Health, Mrs. Reioice Nutacor		Information on Women in Health	Tel : 665444

【研究機関】

名称	実績など	報告書	連絡先
Magament Development Institute, MDPI	Post Graduate Training, Provide Managerial Skills & Gender Awareness		
GIMPA	Research, Training for management		

【NGO】

名称	実績など	報告書	連絡先
African Centre for Human Development, Mr. Wilbert Tengey		Information on Women in Development Training on WID	Tel : 668641/2 Tel : 220138
Freedom from Hunger, Mrs. Josephine Martei	Gender Consultant & Advocate for Women's Progress		Tel : 774828
WILDAF, Mrs. Elizabeth Akpalu, Private Gender Consultant	WID Training		Tel : 4007555
Center for the Development of People, Yaa Peprah Amekudzi	WID Programme / Training		Tel : 051 26026, Kumasi Fax : 051 26026
31st December Women's Movement, Dr. Nana Konadu, Agyeman - Rawling (Hon 1st Lady of Ghana)			Tel : 230366 Fax : 220303
Forum for African Women Educationalists Ghana Chapter Ms. Vida Amaadi Yeboah	Information on Education for Girls and Women Research on Education	Report on Research on Teenage Pregnancy and Attrition Rates among Girls at the Basic Educational level in Ghana	Tel: 406853 Fax: 406682 E-mail: fawegh@AfricaOnline.Comgh

【その他】

名称	実績など	報告書	連絡先
Women's World Banking, Mrs. Comfort Engman, Director	Women Credit Schemes		Tel : 222497/667748
Federal of Women Lawyers (FIDA, English Translation of Spanosh Acronvm)	Legal Issues on Women, Legal Aid		
Association of Women in the Media (ASWIM)	Media Promotions of WID		

5-2 報告書、資料リスト
【教育、訓練】

文献名	著者	発行年	発行機関等
Feminism and Social Justice in Education : International Perspectives	Arnot, M. & Weiler, K. eds.	1993	British Council
Gender Matters in Educational Administration and Policy : A Feminism Policy	Blackmore, J. & Kenway J. eds.	1993	British Council
Parents, Gender and Education Reform	David, M.E.	1993	British Council
Gender and Classroom Interaction : Implications for Teacher Education	Dolle Willemsen, D. & Rodenburg Smith, H., eds.	1993	British Council
The 'Girl Question ' in Education : Vocational Education for Young Women in the Progressive Era.	Powers, J. B.	1994	British Council
Women, Literacy, Income Generation	Rogers, A.	1994	British Council
Ghanaian Women in the Formal Sector : Social Mobility through Education in Greenhill Journal of Administration	Ardafo Shandorf	1990	GIMPA
Gender Issues in Higher Education in Ghana in Building Technical Capacity and Gender Advocacy of Young Professional African Women	Alexina Arthur	1993	U. G Balme Library, Legon
"Analyzing Human Resource Effects Education" in Demery L, Ferroni M, Grootaert C. (Ed) with Wong Valle, J. " Understanding the Social Effects of Policy Reforms "	World Bank	1993	UNDP Library
Proposed Pilot Project Increase Girls' Participation in Education in the northern region, Ghana September 1996 - December 1997	S.K. Atakpa	1996	Ministry of Education
Factor Affecting Female Participation in Education Related to the Northern Scholarship Scheme Research		1996	Ministry of Education
National Plan of Action on Girls' Education	S. K. Atakpa	1995	Ministry of Education
The Status of Basic Education in the Area affected by the Ethnic Conflict of 1994 in the Northern Region Ghana	R.A.I.N.S Consultancy	1997	Ministry of Education
Ghana Ministry of Education National Plan of Action of Girls' Education	S. K. Atakpa	1995	Ministry of Education
Basic Education Sector Improvement Programme "Policy Document" Free Compulsory Universal Basic Education By the Year 2005 (FCUBE)	Ministry of Education	1996	Ministry of Education
The Effects of Community Participation in the Provision of Basic Education on Access to and Quality of Education	Baku, JJK & Agyeman DK		Ministry of Education
Report on the STM Zonal Clinics held at Tamale, Kumasi, Takoradi, Ho	Ghana Education Service / Girls Education unit		

【保健衛生】

文獻名	著者	発行年	発行機関等
Women and HIV/AIDS : An International Resource Book	Berer, M. & Ray, S.	1993	British Council
Women's Medicine : Zar -Bori Cult in Africa and Beyond	Lewis, L.M. & others, eds.	1991	British Council
Women and Health	Smyke, P.	1993	British Council
Adolescent Fertility and Reproductive Behavior in Ghana : The Case of Accra and Kumasi	Prof. John S. Nabila and Dr. Clara Favorsey	1996	FADEP
Children and Women of Ghana A Situation Analysis 1989 - 1990	Republic of Ghana and United NationsChildren's Fund	1990	UNICEF
National Population Strategy and Guidelines	National Population Council	1998	National Population council
National Reproductive Health Service Policy and Standard	Ministry of Health	1996	Ministry of Health
Revised National Population Policy 1994 Action Plan (Volume I - General Introduction)	National Population Council	1994	National Population Council
Revised National Population Policy 1994 Action Plan (Volume II - Maternal and Child Health/Family Planning)	National Population Council	1994	National Population Council
Revised National Population Policy Action Plan 1994 (Volume III - For poplation Policy and Programmes including Women in Development)	National Population Council	1994	National Populaiton Council
Revised National Population Policy 1994 Action Plan (Volume IV - For Population Information, Education and Communication)	National Population Council	1994	National Population Council
Rrvised National Population Policy 1994 Action Plan (Volume V -)	National Population Council	1994	National Population Council
Revised National Populatin Policy 1994 Action Plan (Volume VI - For Data Collection, Research Monitering and Evaluation)	National Population Council	1994	National Population Council
Maternal and Children Health and Family Planning 1995 Annual Report	Ministry of Health	1996	Ministry of Health
Health Sector 5 Year Programme of Work 1997 - 2001 joint Ministry of Health - health Partners 1998 Review	Ministry of Health	1999	Ministry of Health
Ghana Demographic and Health Survey 1998	Ghana Statical Service, Macro International Inc.	1999	Ghana Statical Survey

【経済活動】

文獻名	著者	発行年	発行機関等
Gender, Work and Population in Sub - Saharan Africa	Adepoju & Oppong C., eds.	1994	British Council
Gender, Small - Scale Industry and Development Policy	Baud, L.S.A. & de Bruijune, G.A., eds.	1993	British Council
Blacksmith Baker, Roofing - Sheet Maker - Employment for Rural Women in Intermediate Technology	Carr, M.	1984	British Council
Gender and Trade Unions	Lawrence, E.	1994	British Council
Enterprising Women : Ethnicity, Economy and Gender Relations	Westwood, S. & Bhachu, P.	1988	British Council
Ghana Directory of Industrial Establishments	Ghana Statistical Service	1988	Statistical Service
"Opportunities and Constraints on the Participation of Women in Small Scale Mining in Ghana - Preliminary Survey Results and Recommendations " in UN 1993 Guidelines for the Development of Small / Medium Scale Mining	Ofei - Aboagye E.	1993	GIMPA
Access of Women to Employment in Ghana, Paper Prepared for the Ghana Trades Union Congress	Akufo A. D.	1994	University of Ghana Balme Library

Dimensions of Sex Discrimination : The Ghanaian Working Women's Experience Greenhill Journal of Administration	Akufo A.	1990	University of Ghana Balme Library
"Ghanaian Women in the Formal Sector : Social Mobility through Education " in Greenhill Journal of Administration	Ardayfio Schandorf E.	1990	University of Ghana
Women Beneficiaries of the Facilities of the National Board for Small Scale Industries Paper Presented at NBSSI Workshop on Gender Issues in Small Enterprise Development	Dagadu R.	1996	NBSSI
"Occupation of Women in Ghana " in Proceedings of Seminar on Ghanaian Women in Development Volume I ; National Council of Women and Development	Ewusi, Kodwo	1978	University of Ghana Balme Library
Ghanaian Women, Economic Crisis and Access to Resources Paper Presented at the Annual Conference of Centre of African Studies, University of Edinburgh	Monsah Bonsu H. J. A.	1990	Law Faculty, University of Ghana
Report of the Specialist Committee on Women in Employment International Labor Organization / United Nations Development Programme / Ministry of Employment and Social Welfare Umbrella Project	National Council on Women and Development	1995	NCWD
Women's Group and Association as Partners in Small Enterprises Development in Ghana			
Women's Group And Associations As partners in Small Enterprises Development in Ghana	Esther Oduraa Ofei-Aboagye	1998	Friernich Ebert Stifung

【農林水産漁業】

文 献 名	著 者	発行年	発行機関等
The African Farmer	FAO	1991	University of Ghana Balme Library
Rural Women and Food Security : Current Status and Perspectives	FAO	1996	FAO Headquarters
Women's Work in Third World Agriculture	Dixon - Mueller, R.	1995	University of Ghana Balme Library
FAO Plan of Action for Integration of Women in Development		1988	FAO Headquarters
Women's Role in Economic Development	Boserup, E.	1970	University of Ghana Balme Library
Proceedings for Seminar Households in Bolga, Upper East and Northern Regions	Ghana Association for Women's Welfare	1986	University of Ghana Balme Library
Ghana Medium Tern Agricultural Development Strategy		1990	University of Ghana Balme Library
Enhancing Opportunities for Women in Development	UNDP	1994	University of Ghana Balme Library
FAO/WHO Report of Ghana National Food and Nutrition Policy and Plan of Action	FAO/WHO	1988	FAO Headquarters
FAO Report on the Availability of Gender Desegregated, Agricultural Data in Ghana (draft)	FAO	1995	FAO Headquarters

Adjustment with a Human Face - Protecting the Vulnerable and Promoting Growth	Comia, G. A.	1987	University of Ghana Balme Library
Ghana Role of Women in Food Production	C. Obeng - Boampong (Mrs.)	1989	NCWD
Proceedings of the Seminar on " Ghanaian Women in Development "	National Council Women and Development	1978	NCWD
The Charcoal Cycle in Ghana a Baseline	K. S. Nkeiah, E. B. Hagan, S. T. Addo (Dr.)	1988	NCWD
Survey in Zambia, Cameroon and Ghana on Women as Small - Scale Entrepreneur	UNECA	1987	NCWD
Women in Cottage Industry : A Study of the Fish Processing Industry in Kokrobite and Chokomey	Faustina A. E. Agbemetsi	1996	Sociology Department, University of Ghana
Planning Income and Employment Generation for Rural Women	Susan Malik	1995	NCWD
Women's Access to Agriculture Land in the Household : A Case Study of Three Selected District in Ghana	Prof. George Benneh, R. Kasim Kasanga and Doris Amoyaw	1996	FADEP
Women in Agriculture	Beatrice Akua Duncan	1996	Friedrich Ebert Stiftung
Women, Agricultural Intensification, and Household Food Security	Sasakawa Africa Association	1997	University of Cape Coast

【その他】

文獻名	著者	発行年	発行機関等
Gender Planning and Development : Theory, Practice and Training	Moser, C. O. N.	1993	British Council
Women and Power : Gaining Back Control	Pearson, V.	1992	British Council
Dealing with Inadequately : Analyzing Gender Relations in Melanesia and Beyond	Strathern, M., ed.	1987	British Council
Planning Development with Women : Making a World of Difference	Young, K.	1993	British Council
The Dynamics of 'Race' and Gender : Some Feminist Interventions	Afshar, H. & Maynard, M.	1994	British Council
Independent Benefits for Men and Women : An Enquiry into Options for Treating Husbands and Wives as Separate Units in the Assessment of Social Security	Esam, P. & Berthoud, R.	1991	British Council
The Human Factor in Rural Development	Evers, B.,	1991	British Council
Women and the Environment	Rodda, A.	1991	British Council
"The Impact of Adjustment of Women" in Demery L., Ferroni M., Grootaert C. (Ed) with Wong Valley J. Understanding the Social Effects of Policy Reform World Bank Study	Collier P.	1993	University of Ghana Balme Library
The Emancipation of Women : An African Perspective Ghana University Press	Dolphyne F.	1991	University of Ghana Balme Library
Study of Women in Public Life in Ghana	Institute of Statistical Social and Economic Research (ISSER)	1996	University of Ghana Balme Library
Women in Consultancy : Problems and Prospects, Paper Presented at the UNDP Developing Local Consultancy Capacity Project / NCWD Seminar	Mensah Bonsu H. J. A.	1990	Law Faculty, University of Ghana
Children and Women of Ghana : A Situation Analysis Accra	Republic of Ghana / UNICEF	1990	University of Ghana Balme Library
Gender Roles in Household Allocation of Resources and Decision - Making in Ghana	Charles K. Brown	1990	FADEP
Reproductive Decision - Making within the Ghanaian Family	Daniel Buor	1994	FADEP
Family Dynamics and Residential Arrangements in Ghana	Hodiak Addai Sundiata	1994	FADEP
Family and Development in Ghana	Elizabeth Ardeyio - Schandorf	1995	FADEP

Women in Public Life	C. K. Brown, Nana Amma Anokye, Akua O. Britwum	1996	Friedrich Ebert Stiftung
Core Welfare Indicators Questionnaire (CWIQ) Survey 1997 Main Report	Ghana Stastical Service	1998	Ghana Stastical Service
The Pattern of Poverty in Ghana 1998 - 1992 A study based on the Ghana Living Standards Survey	Ghana Stastical Service	1995	Ghana Statistical Service
Children and Women of Ghana A Situation Analysis 1989 - 1990	Republic of Ghana, United Nations Childrens Fund	1990	UNICEF
The Changing Family in Ghana	University of Ghana	1996	University of Ghana
Ghana A Gender Strategy for Development	World Bank	1997	NCWD
The First Medium-term Development Plan Ghana-Vision 2020	NDPC	1996	NDPC
The Status of Women in Ghana (1985 - 1994) National Report of the World Conference on Women	NCWD	1994	NCWD
Adjustment and Poverty Option and Choices	Frances Stewart	1995	

6. References

6-1. Reports and References

- Ghana Statistical Service, 1995. Analysis of Demographic Data
- World Bank, 1998. World Development Report.
- The Institute of Statistical Social and Economic Research, 1998. The State of the Ghanaian Economy in 1998
- Ghana Statistical Service, 1995, Ghana Living Standard Survey
- Ghana Statistical Service, 1998. Ghana Demographic and Health Survey 1998
- Ghana Statistical Service, 1993. Rural Communities in Ghana
- Ghana Statistical Service, 1993. The Pattern of Poverty in Ghana 1988-1992, A study based on the Ghana Living Standards Survey
- Ghana Statistical Service, 1995. The State of the Ghanaian Economy
- Ghana Common Country Assessment, 1997.
- UNDP, 1998. Human Development Report.
- Clara Fayorsey, 1997. Women in Development – Ghana Country Profile Study (Submitted to JICA Ghana Office)
- Ghana Statistical Service, 1997. Core Welfare Indicators Questionnaire Survey
- Bank of Ghana, 1997. Annual Report
- Center for Development Studies University of Cape Coast, Women in Public Life
- National Council on Women and Development, 1994. National Report for the Fourth World Conference on Women
- National Development Planning Commission, 1997, Ghana-Vision 2020 –The First Medium-Term Development Plan (1997-2000)
- S.A.Atakpa (Ministry of Education), 1996, Proposed Pilot Project Increase Girls' Participation in Education in the Northern Region, Ghana
- Ministry of Education, 1996, Factor Affecting Female Participation in Education Related to the Northern Scholarship Scheme Research
- Ministry of Education, 1995. National Plan of Action on Girls' Education
- Ministry of Education, 1996, Basic Education Sector Improvement Program "Policy Document" Free Compulsory Universal Basic Education By the Year 2005 (FCUBE)
- Baku, JJK & Agyeman DK (Ministry of Education), The Effects of Community Participation in the Provision of Basic Education on Access to and Quality of Education
- Ghana Education Service Girls Education Unit, Report on the STM Zonal Clinics held at Tamale, Kumasi, Takoradi, Ho
- Prof. George Benneh, R Kasim Kasanga and Doris Amoyaw, 1996. Women's Access to Agriculture Land in the Household : A Case Study of the Three Selected District in Ghana
- Beatrice Akua Duncan, 1996. Women in Agriculture
- Sasakawa Africa Association (University of Cape Coast), 1997, Women, Agricultural Intensification and Household Food Security
- Esther Oduraa Ofei-Aboagye, 1998. Women's Group and Associations as Partners in Small Enterprises Development in Ghana
- National Population Council, 1998, National Population Strategy and Guidelines
- Ministry of Health, 1996, National Reproductive Health Service Policy and Standard
- National Population Council, 1994. Revised National Population Policy 1994 Action Plan (Volume I -IV)
- Ministry of Health, 1996, Maternal and Children Health and Family Planning 1995 Annual Report
- Ministry of Health, 1999. Health Sector 5 Year Program of Work 1997-2001 joint Ministry of Health – Health Partners 1998 Review

Elizabeth Ardayfio-Schandorf, 1995. Family and Development in Ghana

C.K.Brow, 1996. Women in Public Life

Frances Stewart, 1995. Adjustment and Poverty –Option and Choices

UNDP, 1999, Human Development Report.

NCWD, 1994, The status of Women in Ghana(1986-1994) National Report for the Fourth World Conference on WomenThe Institute of Statistical Social and Economic Research, 1998. The State of the Ghanaian Economy in 1998

Ghana Statistic Service, 1995.

UNDP, 1996, Human Development Report, UNDP.

UNICEF, 1996, The State of World Children, UNICEF.

Ardayfio - Schandorf, Elizabeth, 1994, The Status of Women in Ghana (1985- 1994), The Auspices of the Friedrich Ebert Foundation, Accra.

ETU, 1995, Country Profile : Ghana 1995-96, ETU.

The Europa Publications, 1996, The Europa World Yearbook : Ghana ,The Europa Publications.

Ohene - Konadu, Gifty, 1996, Seminar for Senior Officers of the National Machineries for the Advancement of Women : Country Report, The Government of Japan and JICA.

Republic of Ghana, 1995, Ghana - Vision 2020 (The First Step ; 1996 -2000), Presidential Report to Parliament on co - ordinated Programme of Economic and Social Development Policies (Policies for the Preparation of 1996 - 2000 Development Plan), Republic of Ghana.

UNICEF and Government of Ghana, 1995, Master Plan of Operations 1996 - 2000, UNICEF and Government of Ghana.

UNICEF - Ghana, 1995, Ghana ; Programme 2000, UNICEF - Ghana.

World Bank, 1992, Fact Sheet Ghana : Gender Issues, World Bank.

6-2. Interviewed Person

- National Council on Women and Development(NCWD)
 - My Marian A. Takie (Director)
 - My Lena Alai Ciariba (Information Officer)
- Institute of Local Government Studies
 - My Esther Oduraa Ofei-Aboagye (Deputy Director/Head of Training)
- Center for Social Policy Studies(CSPS), Faculty of Social Studies, University of Ghana
 - Prof. Nana Abena Apter
- MEL Consulting Limited (Executive Director)
 - My Aba Amissah Quainoo
- ENDOW Foundation (Executive Director)
 - Mrs. Magdalen A. Abrokwa
- Canadian International Development Agency (Development Program Officer)
 - Ms Nana O. Koranteng
- United Nations Development Program (Assistant Resident Representative)
 - Mrs. Confort Tetteh

6-3. Local Consultant

JICA Ghana Office In-House Consultant (Ms. Junko IZUMIYAMA)